

アジア原子力協力フォーラム

(FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

1 FNCAとは

我が国の内閣府と文部科学省が中心となって進めているアジア諸国との原子力技術の平和利用における国際協力の枠組み。

2 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム（12か国）

3 枠組み

(1) FNCA大臣級会合

原子力を所管する大臣級代表による会合と上級行政官による会合で構成。協力方策や原子力政策について討議。

(2) コーディネーター会合

各国1名のコーディネーターにより、協力プロジェクトの成果と評価、推進方針、新提案ならびにFNCAの運営全般に関わることを審議。

(3) パネル会合

原子力発電の基盤整備に関わる取組みの実際の経験を、FNCA参加国の担当上級行政官および有識者で共有し、各国および国際協力の取組みに生かすため討議を展開。2009年度から、「原子力発電のための基盤整備に向けた検討パネル」を設置。

(4) 個別プロジェクトについての協力活動

放射線利用および原子力基盤に係る4分野10プロジェクトについて、FNCA参加国が持ち回りでワークショップを開催し、活動の成果と計画を討議。

< FNCA 10プロジェクト >

| | |
|------------------|---------------|
| ○研究炉利用開発分野 | ○原子力基盤強化分野 |
| ・研究炉ネットワーク | ・人材養成（※） |
| ・中性子放射化分析 | ・核セキュリティ・保障措置 |
| ○原子力安全強化分野 | ○放射線利用開発分野 |
| ・原子力安全マネジメントシステム | ・放射線治療 |
| ・放射線安全・廃棄物管理 | ・放射線育種 |
| | ・バイオ肥料 |
| | ・電子加速器利用 |

※人材養成プロジェクトでは、原子力分野の人材育成におけるアジア各国のニーズ把握、情報交換や協力のあり方を検討し、協力活動や相互支援を通じて、人材育成の交流と原子力技術基盤の強化を推進。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

